

さざなみ

第109号

〈ミッション〉
 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けたい。

〈ビジョン〉
 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

社会福祉法人 榎の里
 いすみ学園

「世界自閉症啓発デー」に想う

社会福祉法人 榎の里 理事長 岡部 一 邦

2007年12月18日の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議されました。

決議文の中で、特に注目すべき箇所を記述しますと、

- ・全ての障がい者のあらゆる人権及び基本的自由の全面的実現を確保・推進することは、国際的に合意された開発目標に欠かせない。
- ・生後3年間のうちに発現する自閉症は、脳の機能に影響を及ぼす神経障がい起因し、一生涯発達障がいであり、その影響は主として、性別、人種または社会経済的地位を問わず、多くの国々の子どもに及び、またその特徴は社会的相互作用における機能的障がい、口頭その他コミュニケーション上の問題ならびに限定された反復的な行動、関心および活動に

ある。

世界のあらゆる地域で子どもの自閉症が広がり、高い罹患率に達していること、ならびに、その結果として、各国政府、非政府組織、および民間セクターが実施する長期的な保健医療、教育、訓練、および介入プログラムを発展させるという課題がある。

また、子どもやその家族、コミュニティ、社会に深刻な影響が及んでいる。

個人の成長と発達には早期の診断、ならびに、適切な研究および介入が不可欠である。

こうした認識の基に4月2日を「世界自閉症啓発デー」に指定し、これを2008年から毎年、記念することとして、加盟国に対し、家庭レベルを含む社会全体で、自閉症の子どもに対する認識の向上を図る措置を講じるよう

に促す、としています。

我が国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障がいについて、広く啓発する活動が行われ、今年もシンポジウムや各地での啓発活動、シンボルカラーのブルーでの東京タワーのライトアップ等が実施されました。

国連が自閉症という障がいの特性に着目し、世界各国に早期診断、保健医療、教育、訓練の必要性や、社会の理解促進のための取り組みを求めたことに、力強い励ましを感じますし、関係者の地まぬご努力にも感謝したいと思います。

しかし、国連決議から10年が経過する中で、自閉症をはじめ発達障がい者を取り巻く環境が、共生社会への歩みを進めてきたという実感は、残念ながら私には全くありません。

厚労省によると、2016年度に虐待を受けた障がい者は3198人で、そのうち福祉施設職員による虐待は401件、672人で前年よりも2割近く増え、4年連続で過去最多を更新している状況である、とのこと。

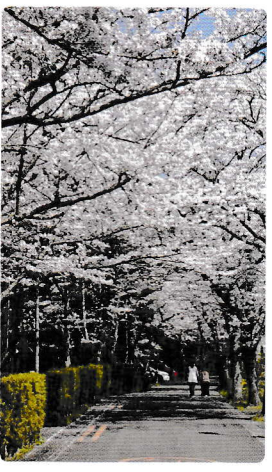
20数年前、都の障がい福祉部長時代に、知的障がい者施設利用者のお母さんから、職員から虐待を受けているとの訴えを受け、当該施設を緊急監査し是正指導をしましたが、類似の不祥事が続発し、マスコミに報道される事件も発生してしまうという、誠に耐えがたい状況に遭遇しました。

そこで、全国に所在する施設の園長に参集いただき「人生のパートナーとして心を寄せ頼りにしている職員に、虐待の仕打ちを受けた利用者の悲痛を思うと、障がい福祉に携わる者として慚愧に堪えない。早急に人権尊重に徹した処遇体制を確立して欲しい」と訴えた日のことを想起するとともに、20数年を経ても変わらぬ現実に、暗澹たる思いです。

自閉症者の皆である「いすみ学園」で、利用者の一回性の人生に深く関わっている私達は、「世界自閉症啓発デー」国連決議の意義を深く理解したいと思えます。

そして、この学園広報誌「さざなみ」のタイトルに添えて掲載している、学園の（ミッション）と（ビジョン）を常に精読し、その含意を心に銘記したいと思えます。

自閉症という障がいを抱える利用者が、地域社会の人々と交歓し合いながら、充実した日々を送るための良きパートナーとして、更にはノーマライゼーションの実現に向けた発信者として、日々実践を重ねていこうではありませんか。



『三十年度に向けて思う事』

施設長 秋本 泰司

三十四年目の学園には利用者の高齢化問題（職員もですが）、人材確保とその育成など：解決していかねばならない課題が沢山見えてきています。

本来、それらは優先順位を決めて取り組むことではありますが、どれも「マンパワー」がその鍵となります。

三十年度の日中活動に向けて

これまでの学園の日中活動は、目が行き届きやすい小集団で行うことが特徴でした。

しかし、移動や支援で個別対応の必要な利用者が増え、日中活動の場でも職員が足りない状況が増えてきていました。

その為の人材確保は、他法人と同様に労力を費やしてきましたが成果はなく、今後も厳しい中では現行職員数で中集団化へ編制替えをし、一つの作業班の職員を増やしていくという結論に至りました。

これは学園にとっても大きな変化ですが、支援員が一年掛けて検討してきた結果でもあります。

新たな作業班

介護的支援の必要な人達を中心とし

た班とこれまでの活動を継続する班とに性格分けをすると共に、配属職員を増やす為に班の数を減らす。

しかし、これは現状を基にした策であり、これで全ての課題を解決できるものでもなく、その自身の精査や今後にも状況に応じて調整を繰り返すことにもなりますが、これらは明るい未来を開くためでもあります。皆様のご理解を引き続きお願い致します。

福祉人材の種まき

働き方に対する世代間の意識格差もありませんが、それ以前に若者達は、障がい者福祉とはどのような仕事なのかを知らないというのが正直なところではないでしょうか。

昨年、高校生を対象に施設見学会を開催しました。（今後も予定）限られた時間であり、伝えられた事も少なかったとは思いますが、地域の中にある身近な職場・職種として考える機会となり、一人でも専門学校へ進学をしてくれれば：この期待を込めています。

巷では、今後、オリンピック一色になると思いますが、おもてなしとか：障がい者に優しい街づくりとか：が彼等の背中を押す力になってくれることを。これも期待の中で。

『新年度に向けて心新たに』

保護者会長 谷島 慶彦

保護者会は「会員相互の連携」といすみ学園の支援」を掲げ、事業活動を積み重ねその実現に努めており、前年度の事業活動を無事終了し、新年度を迎えました。

四月八日（日）は保護者会・後援会定時総会が開催されましたが、当日は年度初めの行事が集中し、保護者にとって多忙な一日となりました。

一、午前は利用者にとって適切な支援が行われる様「個別支援計画」について各職員と保護者の一斉個別面談が行われました。これは事前に保護者に支援計画書を郵送する事により、当日は短時間の意見交換で完結する様、学園と協議し改定され定着する事が出来ました。

二、午後はいすみ学園の年度初めの説明会が行われました。岡部理事長より、学園現下の課題である利用者の高齢化対策として、一つ目は利用者の日中活動の在り方、二つ目は利用者の介護・医療体制の在り方、三つ目は利用者の生活環境の整備の、三つの柱の対策を策定し実行してゆく旨の力強い説明がありました。理事長が昨年就任され、既に外作業棟の改修が行われ、見違える様にきれいに整備され、又今年度は介護度の高い利用者の為、特殊浴槽設置の増築予算が計上され、その素早い対応に感謝しております。

三、午後は更に保護者会・後援会定時総会が開催されました。平成二十九年事業活動及び平成三十年事業計画は全て了承されました。新年度の事業計画は、次の四つの柱を掲げて、活動に取り組んでまいります。まず利用者の生活援助、二つ目は保護者会及び学園の行事の支援、三つ目は利用者の高齢対策の支援、四つ目は福祉情報の共有と関係団体の活動に協力です。

四、夕刻より場所を変えて、保護者会恒例の懇親会があり、学園からも理事長他十一名の参加をいただき盛況に行われました。理事長のフルート演奏や母親の手話ダンスのご披露があり、最後は全員で「いすみ学園歌」の大合唱で締めくくり、保護者相互や職員との絆を深める事が出来ました。

近年利用者の親である保護者の高齢化が進んで来ており、保護者会員も既に兄弟姉妹に変わられた方もおり、又保護者会に親に付き添って来られる方も増えて来ました。兄弟姉妹の方にも、学園や利用者の実態を知っていただき、又、他の保護者との絆を深めて頂く為にも、学園や保護者会の活動にご参加頂く事を切に願っています。

新年度に向けて心新たに、利用者が安心して豊かな生活がいつ迄も送れる様学園に協力して努力してまいります。

新年度を迎えて 各班から一言

【室内班】

1班は、いすみ学園の入口に配置された電車の横にある作業棟で活動しています。室内作業班として受注作業を活動の柱にしていますが、他にも手芸や体操やウォーキングなどを行っています。庭の草取りや花植えの活動も時々あります。今年度は（元）万木工舎から織り機を運び、織物も始めました。（昨年度は更に人数が増えました。準備時間はわずかでしたが、作業棟内の配置を直したり個々の居場所を想定したりして、新しいグループのあり方を皆で探りながら新年度のスタートを切ることができました。作業日課は試行中ですが、ゆっくり組み立てているところです。）

そんな1班は毎日、生活棟から作業棟まで坂道を歩いて移動します。それほど遠くはありませんが、坂道なのでちよつとした運動になります。春は桜の花吹雪を楽しみ、夏は蝉の声をききながら、秋は舞い散る落ち葉を眺めながら、冬は北風に負けずに、自然豊かないすみ学園を感じることが出来る時間です。また、成長した桜の木を見る度に、学園の歴史を感じます。

今年度も作業班で働き余暇や行事を楽しむ、豊かな暮らし・あたりまえの暮らしを支えていきます。

（支援主任 鈴木 典子）



【外作業班】

今年度、外作業A・B班が統合された1つの「外作業班」として生まれ変わる事となりました。聞くところによると30年ぶりの統合との事で、利用者さん12名と新たな大海原へ船出致します。理由は周知の通り、学園全体の高齢虚弱化に伴う、作業班の再編成の一環の為です。その為に、昨年は1年かけて、課題を整理（外作業班だけではなく、全体の作業班を見た上で）しました。

その中で、特に懸念として上げられたのが既存の外作業棟の老朽化でした。これまで作業棟は所々の補修はして来ましたが、やはり経年劣化による傷みを隠す事が出来ない現状となつていま

した。そこで保護者の皆様のご尽力もあり、今年の2月よりリニューアル工事が始まり、我々も工事関係者の方々に、問題のある場所を指摘していき、今年の3月に引き渡しとなりました。新しい作業棟は、回りの環境、自然ともマッチした木の温もりを感じる構造となり、何よりも「キレイ」が、我々が素直に感じた感想です。今後、この空間を維持する為に、日々の掃除に加え所々の点検を重ねて参りたいと思います。関係者の皆様にはこの場を借りて、改めて感謝の意を申し上げます。

そして、これからの外作業班の予定としては、まずはこれまで両班が築いてきたA班であれば農場やハウスを使った野菜作り、B班であればいすみ市からの委託事業による、広域農道の植栽、万木城址公園の整備等を継続しながら、「平成31年度以降に向けた1年」にしようと、班の職員にも周知致しました。

小グループから中グループになる事で、これまで通りには出来ない活動も一つ一つの作業を改めて精査していき、外作業班としてのスタイルを築いていきたいと考えています。

疑問に思う事も、不満に思う事も多々出て来るかと思いますが、まだまだ生まれてたの外作業班です。どうぞ、これからの姿を長い目で見守って頂けると幸いです。

（支援主任 片岡 彰則）



【食品加工班】

いすみ学園の日中活動改編が進む中、食品加工班も2名の利用者が新たに加わり、4月より慌しくも楽しくスタートを切っています。ご存知の通りここは生産活動の比重が大きい班であり、班メンバーも元気にその力を発揮してきました。とはいえ、毎年確実に年は取り、身体機能も徐々に低下します。意欲はあるが身体が付いていけない、又は心理的に衰えることもあるでしょう。昨年度は技術面や身体面で変わってきている方もいました。またハード面も学園創設以来、倉庫の増設はありましたが敷地内の間取りは変わらず衛生面から作業動線の不便さがあったり、段差等バリアが多かったりと、

抱える課題は他班と何ら変わりません。加工食品における関連法規も毎年のように改正されています。喫緊の課題として平成32年完成施行となる栄養成分の表示義務があり、現在商品ごとに計算を進めている所です。その他、原料原産地表示義務や食品衛生管理の国際標準化に向けた制度導入義務など、やるべきことが多くあります。

加工食品はいすみ学園の看板の一つであります。現状の課題を一つずつクリアして、これからも利用者と一緒に美味しい商品を作っていきたいと思えます。(支援主任 長沼 毅)



【石 鯨 班】

石鯨班は新たなメンバーも加わり、利用者さんは男性4名・女性5名、職

員4名で新年度がスタートしました。廃油から作られる石鯨は、近隣の直売所や道の駅に卸しています。そこで購入されたお客様からの口コミで少しずつ広がり、近隣の方々はもちろん、関東を中心にリピーターのお客様が沢山いらつしやいます。

現在、固形石鯨と液体石鯨の2種類がありますが、定番の固形石鯨の売りに匹敵するくらい、液体石鯨の売り上げも伸びて来ています。今年度は、関東中心だけでなく全国各地にいすみ学園の石鯨を知ってもらいたいと思えます。

使ってみなければ効果は分かりません。是非一度手に取って、効果を実感して頂けたら幸いです。皆さんに手に取って頂ける商品作りを、石鯨班の愉快なメンバーで作ります。(支援員 吉田 友希)



【万 木 工 舎】

平成30年度の体制がスタートしました。皆さんご存知の通り、万木工舎は、介護的支援の必要な人達を中心とした班となりました。利用者メンバーを紹介させて頂きます。

女性、T・Yさん5才。学園のマスコットの存在で特に女性職員からの人気は高いです。次に女性M・Fさん。6才。車椅子利用ですが、大のイケメン好き。「まだ若い人には負けません。」さて、男性陣は、まずは、いすみ学園最高齢のM・Kさん。7才。大好きな織物をしながら、万木工舎の売りに貢献します。次はK・Nさん。5才。墨田区ツートップの一人です。両足を使った攻撃？は、最強です。同じく墨田区もう一人は、同年齢のY・Hさん。デイフェンス担当。武器は「ギヤー」の叫びです。続いて、パツクちぎりの名人I・Kさん。5才。「コーヒー一番、カレーが二番。」これだけは、誰にも譲れません。最後は5才の大きな体のI・Yさん。声も大きいですが、憎めない得なキャラです。

以上、7名の皆さんですが、介護的支援の必要な人達を中心とした班ならではの年令と、ハンデがあります。しかし、それらに負けず、パワフルでこだわりのある頼もしい面々です。いすみ学園の歴史を背負いつつ、全体をリードして行きます。

『NICE MIDDLE万木工舎』(支援主任 加茂 正和)



【グループ実習 勝浦班】

新年度を迎え、勝浦班はメンバーも職員も変わることなく新年度をスタートすることになりました。今年度も病気、怪我、事故の無いように、明るく、楽しく作業ができるよう引き続き支援を行っていきます。

昨年度を振り返ると、西川の勝浦工場では多種多様な原料空けを行ってききました。そんな中、混乱することなく臨機応変に対応しながら工場の期待値をこなしてきたメンバーのスキルの高さに今更ながら驚かされました。今年度も更に多種多様化する原料に対して、事故、怪我の無いように支援をしながら前向きに取り組んでいきたいと思えます。

スキルの高さと言えば、体験実習として、一ヶ月ごとに他班の利用者が一名ずつグループ実習に参加しています。彼らに対して、更にスキルアップを図るため、昨年度から今までの作業プログラムも一つの作業がこなせるよう支援してきました。彼らもまた、混乱することなく、新しい作業に取り組み、個人差は多少あるにしてもしっかりと作業をこなしてきました。高齢化が進むグループ実習の次期メンバーとして、今後の成長を見守りたいと思います。

(支援員 泰居 容一)



【グループ実習 大原班】

毎日忙しい中で、各利用者が持っている体力を思う存分出し切って作業を行っている。

二〇〇七年に西川大原工場が完成し新体制でのスタートきつてから早一年が過ぎていきます。その当初は、各部署に分かれて、原料、割裁、真空、梱包のそれぞれのポジションに合った場所での活躍していました。また、衛生面が特に厳しく、作業着に付着しているゴミやほこりをきれいに取り、手洗いが徹底されました。時間を掛けて職員も支援しながら習得してきました。原料の数は一日平均一、六八〇ケースを処理し、大きなダンボールのトーツがきたり、塊まりがあつたりと様々な物を慣れた動きで進められています。現状で原料部署に全員が集まり働いていません。カットマンとして確実に二名の外人は必ず配置されていますが、それ以外は保障されていない中で、学園利用者がメインとなり処理されています。高齢者、それに続く方が多数いる中で、それぞれが意欲的に持続した活躍を見せています。

最後に、これから様々な変更や要望が出てきます。それらの件に早急に対応し、混乱の少ない作業環境を整え、利用者が主体に活躍できるようにしていきます。(支援主任 横田 武志)



GHの防災活動

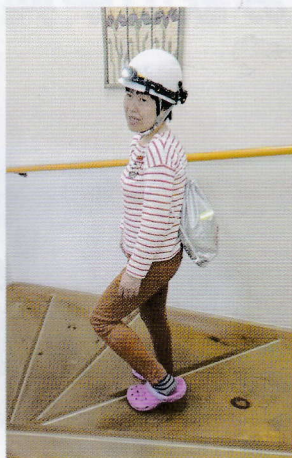
地域の皆様に支えられ、さくらの家は26年目になります。利用者様が安全に暮らせるよう、定期的な消防点検や避難訓練はもちろん、近年ではスプリンクラーの設置工事を行ったり、防災用品の充実にも力を注いできました。

昨年備えた防災用ヘルメットは、いつでも持ち出せるよう人数分を廊下の壁に掛けてあります。

先日そのヘルメットにヘッドライトを取り付けたところ、利用者様は興味津々。「これ何?」「どうやって使うの?」と続々質問が。早速とある日曜の夕食後、さくらの家防災会議と銘打ちヘルメットの使い方説明会を実施。

自分で身を守るこの大切さが伝わればいいなと願う傍らで、楽しそうに学び合う利用者様の姿がありました。

(小島 七生)



防災は
備えと意識と
助け合い



平成30年度主要行事

4月8日(日)	面会日
5月3日(木)	ゴールデンウィーク
5月6日(日)	一時帰宅
6月10日(日)	面会日
6月	ボーナス外出
	生き活きフェア
(サマータイム)	
7月14日(土)	面会日・夏祭り
7月～8月	夏の行事
8月11日(土)	一時帰宅
8月18日(土)	一時帰宅
9月2日(土)	夜間避難・召集訓練
9月16日(日)	面会日・お楽しみ会
9月	生き活きフェア
10月7日(日)	面会日
10月20日(土)	槇の里祭
11月22日(日)	一時帰宅
11月25日(水)	一時帰宅
11月	生き活きフェア
12月9日(日)	面会日
12月	クリスマス忘年会
12月28日(金)	年末年始の一時帰宅
1月4日(金)	一時帰宅
2月10日(日)	面会日
2月	節分会
	生き活き展
3月3日(日)	面会日

千葉日報に掲載されました

たきのえいじ先生からお言葉をいただきましたのでご紹介させていただきます。

千葉日報 2018年(平成30年)2月12日(月曜日)

家族に元気な歌声披露

いすみ学園でカラオケ大会

いすみ市万木の障害者支援施設「いすみ学園」(秋本泰司施設長、利用者70人)で11日、カラオケ大会「歌の祭典」が開かれた。利用者たちは仮装姿でステージに登場し、元気な歌声を家族に披露した。

大会は交流を深めることや達成感を味わってもらうことが狙い。開会式のあいさつで、施設を運営する社会福祉法人槇の里の岡部一邦理事長は「大いにパフォーマンスを発揮して楽しんでもらいたい」と激励した。

大会に向けて作業班ごとグループを結成し、アニメ

メソングや有名邦楽などを練習してきた。主役たちは歌にちなんだ衣装で舞台上げると、コミカルな振り付けに合わせて熱唱。会場を沸かせていた。

審査委員長を務めた作詞・作曲家、たきのえいじさんは「気持ちや心を伝えるには歌が一番。毎年成長を見るのが楽しみ」と話した。

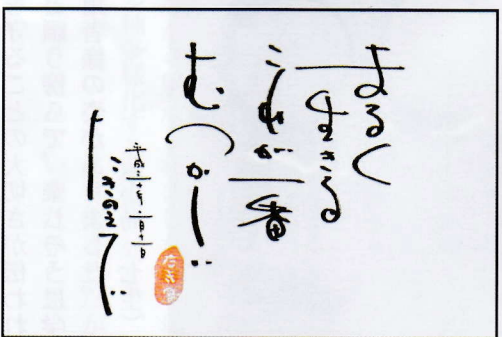
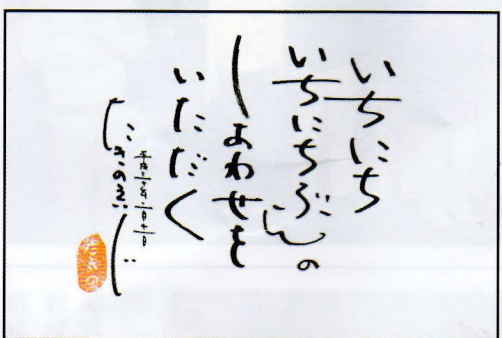
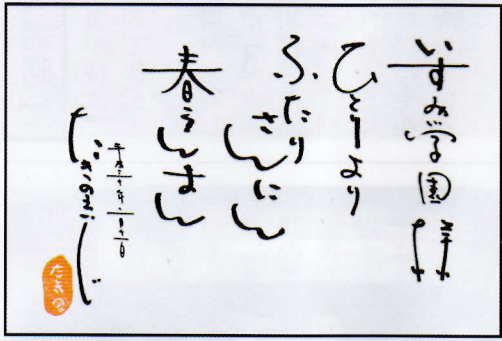
※優勝者は万木工舎の皆様で歌は「未来へ」です。

人気アニメの主題歌を奏でる利用者11日 いすみ市

いすみ歌の祭典



石鹸班 舞台にて披露



いすみ学園
後援会会員の御寄付
感謝録

平成29年4月から平成30年3月までの間に御寄付を賜りました「後援会会員」の皆様の御芳名を記載させて頂きます。有難うございました。紙面の都合上、敬称は略させて頂きます。

五十嵐正一・石井千賀子・菊地一雄・関正明・田中三枝子・銅谷勝子・西山光江・原井利明・原井恵二・南沢恒男・土田修二・末清節子・五十嵐敏子・高田芳允・竹谷虎雄・土肥真・小田嶋勉・稲葉伸子・飯田香・浅野優子・天野真弓・江幡誠・加林讓・斉藤晴夫・西村秀美・西村耕也・由井澤・大塚克行・久保喜平・渡部勇・斉藤嘉津代・会田操・赤嶺淳一・泉富夫・大石坦・勝保洋子・北本三千代・志水嘉明・中村好秀・木造育代・生悦住満・小澤育圃・吉田みつ子・喜屋武隆一郎・中川美津江・市川洋子・落合邦行・牧千代子・三室玲子・落合直美・窪田邦子・伊藤典子・常本一典・常本久美子・佐々木辰雄・斉藤日出子・山添和加・土方満喜子・淀野員代・会田哲也・会田正・植木俊二・竹田和弘・会田洋・植木茂・

藤田久江・赤間嘉幸・北條忠男・名塚義英・岩崎陽子・岩崎アイ・中谷利勇・中谷利一・甘粕美保子・飯島せつ子・若月ヒロ子・川端佐知子・相田捷二・石黒雄幸・坂本ツネヨ・遠藤進・本名猛・森和子・森孝子・中野光夫・花光智恵美・花光英和・高垣千代・森勝・中西鎮雄・亀山紀子・相沢雅代・伊藤明男・上村悦子・大谷光弘・甲斐友美・中西美子・坊垣勝彦・横井葉子・山本和弘・杉山尚浩・鈴木翠・芳賀竹志・水戸部章・栗山尚久・横田ゆうこ・辻祐樹・中西宏仁・高橋昌也・中野達夫・清水孝・山内千晶・高尾美幸・関口達重・高橋茂子・関口いせ・千葉ヨシ・愛川義雄・内山浩・小俣光弘・瀬田武久・辻和洋・山樹文子・斉藤恵子・高橋マリ・斉藤澄子・麻生実・川野和久・苅米興工門・苅米豊・石井莊司・石井恵美子・関芳弘・長田重孝・長田恵子・黒川信行・中村達・杉山恵子・星田健二・永野昌博・斉藤明美・榎下順子・福本聡・愛川久子・三室美千子・尾科弘臣・幸村幸代・中村文子・須田博子・木瀬三佐子・北澤友幸・高橋節子・池田博樹・守隨良子・清水美保子・岩瀬文江・伊藤信一郎・小峯賢・吉野いせ・土渕るり子・土渕精一・小泉眞理子・栗原小絵子・生方里江子・細谷雅子・細谷幸子・日柄幸子・細谷光子・朝倉幸子・石田節子・誼高良子・田中一・清水稔子・佐々木弘・佐々木幸雄・戸沢康弘・宿沢修・若林道子・山口達夫・

矢澤千里・永江加代子・高澤文子・松島弘美・清水潤二・高桑邦子・桐澤里津子・斧輝代・小野英子・木村奈津子・松戸裕子・川名教子・原口まり子・大森もと子・沼志賀子・永江保幸・岩橋圭子・岩間美由紀・永江幸一・清水弘・清水千代子・清水彰・高梨寿美枝・清水裕・松浦薫枝・能勢恭子・川本雅巳・清水従子・清水信之・沢井一郎・斉藤誠司・猿渡まり子・原田博司・星野参郎・高梨悟・卓初子・小林富次郎・松田美津子・福田実・永田豊・後藤健一・後藤洋子・木野慶治・清水祐一・甘利紀子・岩澤廣元・池田瑞枝・金原市郎・鈴木たま子・後藤明子・平松金三・桐谷佳雄・益田英則・益田美代子・早川恵子・益田和也・今井顕・今堀亨子・赤坂徳子・赤坂和子・江尻尚樹・江尻恭仁子・江尻全機・吉澤恵美子・中村敬・中村ヤエ子・姫野保雄・近藤和義・上野梢・岩本菊子・林債子・米丸啓子・米丸孝・津倉京子・阪本悦子・石川隆三・石川洋子・辻村邦康・佐藤剛・白川均・和座勝朗・辻村純子・山科敏夫・西田文則・長谷欣之・宮田茂・大船哲夫・山下巧・大原俊二・大原夏子・小野正夫・星芳・大原麻紀子・小泉千寿子・松中研一・山崎友子・松中紀子・松中耕二・小林章子・浅野勝伸・村野主税・権田孝・土井由起子・山之内玲子・伊藤恵子・篠原学・黒沢秀雄・月岡順子・石口真智子・古屋大蔵・古屋修・杉本郷・木幡道子・今井和子・青

山庸子・串田正悟・新藤千香子・三池朝子・西澤敦子・豊村幸夫・伊藤幸雄・並木紀子・山内八洲・(株)ピーアイイー・神保電器(株)・高浦伸芳・塚原光江・實方悦子・松本設備工業(株)・今野康子・渋谷照子・細井好・長良幸男・瀧島義光・原耕一・高山商店・キリスト同信会婦人会・久保田武子・北山静香・中森明子・西内恭子・小高成子

後援会にご入会を!

いすみ学園の活動を支援するために後援会が結成され、積極的な活動を行っています。皆様方のご協力をお願いいたします。

詳細は学園事務局へご照会下さい。
連絡先 いすみ学園内
〇四七〇(八六)三四一二

『ふるさと納税』

してみませんか?

いすみ市ふるさと納税のお礼品にいすみ学園の商品が掲載されています! この機会に是非いかがですか?



いすみ学園大地の恵みセット

手作りの傑作です

平成30年4月30日発行

第109号 (8)

Isumi Brand (注文をお受け致します)

上品な味わい Pound Cake



ブラウニー

チョコ・ラムレーズン・オレンジ
梅・イチゴ・ブルーベリー

1個 100円

パウンドケーキ



紅茶
800円

フルーツ
900円

レモン
700円

上品な味わい Cookie



ハンドメイド
クッキー
200円

素材そのまま Natural Jam



マーマレード 350円

ブルーベリージャム 550円



りんごジャム 350円

いちごジャム 400円



夏みかんジャム 350円

うめジャム 400円

こだわりの一品を贈りたい ギフトセット

いろいろあります。お問い合わせ下さい。



こだわりの素材と味 梅・漬物

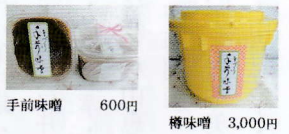


左) 特選いすみ梅 1,000円
右) いすみ梅 200円



ピリカラ漬 250円 あとひきらつきょう 400円

こだわりの素材と味 味噌



手前味噌 600円

梅味噌 3,000円



唐辛子みそ 300円

にんにく味噌 300円

手作りの肌ざわり 万木織り



100円~2,000円

他、クッション、膝掛け、コースター等、多様に揃えております。

自然にやさしい 手作り石けん



固形石けん
100円(1袋)



液体石けん
(大)250円
(小)150円



液体石けん
詰め替え
100円(500ml)

寄附物品募集

いすみ学園では、個人・企業を問わず寄附物品を募集しています。槇の里祭の「バザー用品」や利用者の為に使用する「オムツ(大人用)」「尿取りパット」「車椅子」などです。

事前にご連絡を頂けると助かります。ご協力をお願いします。



下山田礼子

なり、より多くの笑顔に会える毎日と一緒に過ごせるよう願っております。宜しくお願い致します。

利用者の皆さんとの心のふれ合いを大切にする良きパートナーと

して働くことになりました宮澤と申しますが、利用者様とコミュニケーションを取りながら、日々笑顔を決して取りますので、今後とも宜しくお願い致します。



宮澤三枝子

はじめまして。この度グループホームさくらの家で生活支援員と

よろしく
お願い致します

感謝録

次の皆様方から、たくさんのお寄せを頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〔寄附金〕

- ・石野薬局・平なおこ・皆川会計事務所
- ・所・なすな薬局石神井店・原井清子
- ・内山重浩・榎アサヒ・ブルーフ・榎新環境設計
- ・波多野電機・木原薫・榎ピーアイエー
- ・谷川陽子・濱田奈緒美・岩瀬ラジオ店
- ・榎西川・いすみ農業協同組合
- ・(有)松本設備工業
- ・(有)田辺印刷
- ・中村工務店
- ・榎新清ハイツ
- ・(有)源氏商店
- ・全経済関東東経済産業局支部
- ・鶴岡茂美
- ・宇佐美幸子
- ・宿澤修
- ・三浦賀子
- ・たきのえいじ
- ・榎新健食
- ・金城百合子
- ・ベルジャポン
- ・榎石川清子
- ・浅木紗綾子
- ・大原高等学校
- ・いたみや
- ・大野恵千
- ・千葉ノミ
- ・榎西村秀美
- ・東京善意銀行
- ・野中由紀子

編集後記

若草も日増しに伸びて、いすみの丘もすっかり新緑に包まれ活気に満ちた新年度がスタートしました。今年度より新しくさざなみを担当することになり、いすみの最新情報と心あたたまるとニュースを皆様にお届けして行きたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。(田邊 清万・長沼 毅)

題字は青木嵩嘉さんです。